

○ 第1回自然再生活動

月 日	実 施 箇 所	参 加 者	実 施 内 容
7月21日	西目屋村内 鬼川辺国有林 180林班 い5小班	一般募集 20名	植栽箇所に隣接する天然林の林床から 広葉樹稚樹を採取。参加者は、大きめの 稚樹をスコップで自ら穴を掘ってそのま ま植え込むといった作業を実施・体験。 午後は、弘前大学白神自然観察園を散 策して、樹高が高い人工林や広葉樹二次 林といった多様な林相を見学。その後、「水 の日」関連行事の一環として、津軽ダム から上流を遠望して国有林の水源かん養 機能等について普及啓発。



稚樹の掘り取りの様子



植穴掘りの様子



弘前大学白神自然観察園の散策



津軽ダムから上流域を遠望
(水源かん養機能など)

○ 第2回自然再生活動

月 日	実 施 箇 所	参 加 者	実 施 内 容
9月15日	西目屋村内 鬼川辺国有林 180林班 い5小班 面積：0.04 ha 植栽本数：60本	一般募集 13名	植栽箇所に隣接する天然林の林床から 広葉樹稚樹を採取。参加者は、小さめの 稚樹は自ら作成するカミネッコンに苗木 と土を入れ林内の安定した場所に置く といった作業を実施。大きめの稚樹をスコ ップで自ら穴を掘ってそのまま植え込む といった作業を実施・体験。 その後、暗門溪谷と世界遺産の径「ブ ナ林散策道」においてブナ林散策をし自 然環境や生態系について学習。



隣接する天然林から広葉樹稚樹
を採取



カミネッコンを製作



植栽作業中



植栽作業中

○ 自然再生活動

月 日	予定箇所	参加予定等	予 定 内 容
7月20日	西目屋村内 鬼川辺国有林 180林班 い5小班外	一般公募 20名	スギ人工林に隣接する天然林から広葉樹苗木を採取し、昨年度実施の隣接する伐採列に植込み。また、白神山地周辺のブナ林等散策も予定。併せて、「水の日」関連行事となるため、津軽ダムからの遠望や施設見学をしつつ森林の水源涵養機能等について普及啓発。
9月14日	西目屋村内 鬼川辺国有林 180林班 い5小班外	一般公募 20名	スギ人工林に隣接する天然林から広葉樹苗木を採取し、昨年度実施の隣接する伐採列に植込み。なお、小さめの稚樹は自ら作成するカミネッコンに苗木と土を入れ林内の安定した場所に置くといった作業を実施予定。また、津軽峠周辺のブナ林等散策も予定。



広葉樹稚樹の採取(昨年の様子)



掘取りした稚樹を製作したカミネッコンに移植(昨年の様子)



広葉樹の植え込み作業中(昨年の様子)



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター

平成 30 年 8 月 15 日

No.146

第 1 回自然再生活動を実施

7月21日（土）、当センターの自然再生活動を通称白神ライン（青森県道28号岩崎西目屋弘前線）に隣接する西目屋村暗門の鬼川辺国有林内で実施しました。この活動は白神山世界遺産地域周辺のスギ人工林を、元々の植生であるブナ等広葉樹林に戻していくため、自然再生活動として広葉樹苗木の採取や植付けなどを実施するもので、活動終了後は、周辺のブナ林などの散策を行っています。森林内の作業を行ったことがない方でも気軽に出来る内容となっていて、今回の親子参加は10名となりました。参加者は、採取した広葉樹の稚樹をスコップで自ら穴を掘ってそのまま植え込むといった作業を実施・体験しました。100年後を見据えたブナ林再生の作業に、参加者からは充実感を感じるコメントが多くありました。

また、周辺のブナ林散策ですが、弘前大学白神自然観察園の森林散策をさせてもらいました。大きく育ったスギやカラマツ、ミズナラやブナ等の二次林といった様々な林相の見学となり、また、観察園の内外には不識塔や広泰寺という地域の歴史も垣間見られる場所もあり、西目屋村開拓の勉強にもなりました。

その後、水の日関連行事の一環として、昨年オープンした津軽ダムパークの見学を行いました。洪水対策やかんがい用水など下流域へ対する津軽ダムの機能を学ぶとともに、豊富な水を蓄える美しい森林景観を遠望しながら国有林の水源かん養機能など上流域の保全に関して、当センターより緑のダムなどの説明を行いました。

こうした活動は今後も公募等により、多くの人の参加を得ながら地道に行っていきたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしています。（吉川）



植樹作業の様子



弘前大学白神自然観察園内を散策



津軽白神湖を背にして集合写真



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成30年10月17日
No.148

自然再生活動を実施しました

9月15日(土)、当センターの自然再生活動を通称白神ライン(青森県道28号岩崎西目屋弘前線)に隣接する西目屋村暗門の鬼川辺国有林内で実施しました。この活動は白神山地世界遺産地域周辺のスギ人工林を、元々の植生であるブナ等広葉樹林に戻していくため、自然再生活動として広葉樹苗木の採取や植付けなどを実施するもので、活動終了後は、周辺のブナ林の散策を行っています。今回の参加者は、採取した大きめの稚樹をスコップで自ら穴を掘ってそのまま植え込み、小さめの稚樹は自ら作成したカミネッコンに苗木と土を入れ林内の安定した場所に置くといった作業を実施・体験しました。

活動箇所は伐採の際に発生した切株や枝条が多くありましたが、参加者は隣接する広葉樹林から採取したミズナラやブナの稚樹をうまくスコップで穴を掘って植え込んでいました。

息の長い森づくりとなる自然再生の作業は、歩行に注意すれば職員とともに気楽に実施できる内容となっていますので、何度でも参加いただけるものと思っています。

また、周辺のブナ林散策は、暗門溪谷に隣接する世界遺産の径「ブナ林散策道」において実施し、大きなブナの迫力を感じるとともに、白神山地天然林の魅力を感じとっていたことと思えます。

この活動は多くの人々の参加を得ながら地道に行っていきたいと考えております。皆さんのご参加をお待ちしています。(吉川)



植え付け箇所



カミネッコンに植え付け



ブナ林散策道を散策中